



## Beyond KUSS, 2024 !!



### 2024(令和6)年が始まりました

能登半島地震によって被災されたみなさまに御見舞申しあげます。10回生のみなさんの身近な人たちに被災された方はいらっしゃらないでしょうか。

10回生にとって、最後の冬季休業が終了しました。といってもこれまでの長期休業終了後と異なり、課題提出もなければ、授業が始まるわけでもありません。卒業後のステージに向け、ひとりひとりが自分に必要なことに取り組んでいく、中等教育学校での最後のステージになります。

冬季休業前、注意すべきことを下記のとおり連絡しました。実現できたことはありますか。

- 1 体調管理 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザはもちろん、他の感染症を予防するためにも、手洗い・うがいは丁寧に行いましょう。日付が変わる時刻まで学習を続けるのは危険です。年末年始、要注意です。
- 2 規則正しい生活 体調管理とも深く関係しますが、朝型生活を心がけましょう。十分な睡眠時間を確保し、朝から夕方までスッキリ活動できるようにしましょう。クリスマス、お正月、はじめある生活を心がけましょう。
- 3 共通テストの準備 「受験上の注意」を読みましたか。回避できるトラブルが生じないよう心がけてください。注意はあたりまえのことが大半ですが、それができないのが受験生の不思議です。写真の貼付、署名、余裕をもって行いましょう。試験場までの経路(交通機関等)、冬季休業中に確認しておきましょう。
- 4 学習 共通テスト開始まで残り23日です。試験時間帯を意識した学習・生活を心がけましょう。共通テスト当日、試験場に持参する教材、「学びのとも」はありますか。学習のよりどころとなる教材がある人は、あわてることが少ないです。
- 5 気分転換 体調管理を十分に行い、学習を深化させていきましょう。クリスマスやお正月など家族との時間も大切にしましょう。

今週末に共通テストが始まります。納得できる状態で受験できるよう、限られた時間を全力で過ごしましょう。

### 授業評価

すでに閲覧している人もいるかもしれませんが、今年度の授業評価(4点満点)についてHPを通じて公開(<https://www.edu.kobe-u.ac.jp/kuss-top/overview/evaluation/index.html>)しています。

6年による授業評価は今回が初めてです。右表は「すべての授業を総合」した評価を学年ごとに整理しましたデータです。

10回生	平均	Q1 学んだことを課題解決や生活に役立てたりすることができた。	Q2 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」が身についた。	Q3 授業での学びを人生や社会に活かしていきたいと思っている。
6年	3.5	3.5	3.5	3.6
5年	3.3	3.2	3.1	3.4
4年	3.4	3.3	3.3	3.5

これまでの授業評価では、1・2年が高く、3・4年に低くなり、5年が最低というパターンでした。10回生も同様の傾向を示していました。前述のとおり、初めての6年の評価は、5年時を上回っています。今年度6学年のうち、1年に次ぐ高い数値になっています。

ひとりひとりのそれぞれの科目による評価はいろいろです。しかし、総体としてみた場合、10回生の納得度は高いといえます。これまでの取組に自信をもち、卒業後のステージに向けて前進していきましょう。

### 調査書発行等に関する連絡

- ★ 調査書発行申込用紙提出後に変更がある場合、大至急担任に申し出てください。
- ◆ 調査書受取後に変更がある場合、担任に申し出て修正が必要。学校が対外的に証明・発行する文書のため不適切な手続の場合、無効になることがあります。
- ★ 国公立大学出願に必要な調査書 1月15日(月)自己採点時

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2024!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。

## 共通テスト試験場(再掲)

10回生の試験場は神戸大学です。また、すべて六甲地区の3キャンパスで受験するという、非常に珍しいパターンです。ただし、106名が文学部(六甲台第2キャンパス)、工学部(六甲台第2キャンパス)、法・経済・経営学部(六甲台第1キャンパス)、鶴甲第1キャンパス(国際人間科学部、国際文化学研究科)の4会場に分かれて受験します。

右図は神戸大学HPに掲載されているものです。それぞれのキャンパス、本校よりも格段に広く、たくさんの建物があります。六甲台第1キャンパスと鶴甲第1キャンパスは、キャンパス内でも標高差があり、校舎によっては移動がたいへんです。第1目標は、正しい受験教室に到着できることです。最低限の目標は、受験教室のあるキャンパスに間違えずに到着することです。毎年、キャンパスを間違えて係の職員に案内されながら走っている受験生がいます。キャンパスを間違えていなければ、走る状況は回避できます。



参考までに、文学部(六甲台第2キャンパス)では150名、工学部(六甲台第2キャンパス)では587名、法・経済・経営学部(六甲台第1キャンパス)では601名、鶴甲第1キャンパス(国際人間科学部、国際文化学研究科)では513名が受験します。

各キャンパス、阪急六甲から徒歩15~20分で到着可能です。神戸市バスも利用できます。文学部及び法・経済・経営学部キャンパスは36系統、工学部及び鶴甲第1キャンパスは16系統が便利です。36系統に「本部工学部前」というバス停もありますが、工学部は16系統の「国際文化学研究科前」(鶴甲第1キャンパス)で下車する方がわかりやすいです。36系統に「文理農学部前」というバス停がありますが、受験教室までは遠いです。特に文学部はバス停から最も遠い南端に位置し、阪急六甲からは徒歩の方が早いです。

どの受験生も余裕はありません。みなさんも一緒です。しかし、余裕がないことを理解していると、ほんの少しだけ余裕をもち、冷静に判断することができるでしょう

12/23にクラスルームで紹介している内容を参考にしてください。

<https://classroom.google.com/c/MTAxODMxNjA2MTMx/m/NjQ2NjM4OTM2MzI4/details>

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2024!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。